

未来のアジアの空を担う、パイロット訓練生を募集 「Peachパイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」 ～第2期生の募集を開始～

- ・パイロット育成プログラムの2期生を募集
- ・2019年4月25日(木)12:00より採用サイトオープン
- ・訓練開始は2020年4月1日(水)～

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一)は、4月25日(木)より「パイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」の第2期生の募集を開始いたします。

「パイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」とは、LCCの普及などにより航空総需要が急激に拡大している昨今のアジアにおいて、パイロットを目指す方々の経済的負担を軽減した上で、実践的な訓練プログラムを提供し、パイロット育成を行う制度です。PeachがANAグループ、エアバス、三井住友銀行の協力を得て実現した全く新しい制度で、2018年に実施した第1期生の募集には2,000名を超えるエントリーをいただくなど、パイロットを志望する方々からの高い関心を集めることができました。すでに、第1期生は2019年4月1日(月)に入社し、訓練プログラムに投入されました。

Peachでは、パイロットを目指したいという強い夢と情熱を持った方々の夢をかなえるべく、今年度も継続してプログラムを実施し、本制度によって一人でも多くのパイロットを育成することにより、航空総需要の拡大に貢献してまいります。

Peach は、バニラエアと2019年度末をめどに統合し、これまで築いてきたブランドの強みに加え、両社の路線ネットワークを融合することで、アジアにおける競争力を高め、新規需要の開拓や旺盛な訪日需要の獲得を推し進めてまいります。2020年以降、50機以上の規模で日本とアジアをつなぐ路線ネットワークのさらなる拡充を図り、中距離LCC領域にも積極的に進出することで、アジアを代表するリーディングLCCを目指してまいります。

アジアの空に革新をもたらすには、今後ますます優秀なパイロットが必要です。アジアの空を牽引するPeachと共にパイロットの夢にチャレンジする、パッションあふれる方のご応募をお待ちしています。

「Peachパイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」への募集要項は次頁のとおりです。応募エントリー方法は、4月25日(木)12:00にオープンするPeach採用ウェブサイト内の専用ページをご参照ください。

【Peach採用ウェブサイト】
<https://recruit.flypeach.com/>

【募集要項(概要)】

業 務 内 容 : 操縦士のライセンス取得のための基礎操縦教育訓練

採用予定人数 : 若干名

就 業 場 所 : 関西空港ならびに会社が指定する各訓練施設
(国内、ニュージーランド、イギリスを予定)

入 社 時 期 : 2020年4月1日(予定)

対 象 者 : 2020年4月1日の時点で次のいずれかに該当する方もしくは見込みの方。
(1) 4年制大学に2年以上在学している方。
(2) 専門学校、短期大学、高等専門学校、4年制大学を卒業、または大学院を修了した方。

エントリー期間 : FCAT のエントリー期間 4月25日～5月28日
Peach のエントリー期間 8月29日～9月9日(予定)

※FCAT(Flight Crew Assessment Test)とは、全日本空輸が実施するパイロットの適性テストです。
プロセスは、書類選考、英語試験(GTEC Business 4技能)、適性試験、グループワーク、個人面接
などを実施する予定です。

FCAT 全てのプロセスにおいて合格することが、Peach のエントリーの条件となります。



<参考資料>

【「Peachパイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」の概要】

- ① ANAのノウハウを活かした質の高い訓練プログラムの提供
- ② 訓練は、海外でのEASAライセンス^{*1}取得訓練(前半)と、国内で実施するJCABライセンス^{*2}取得訓練(後半)の2部制で構成

<前半訓練>

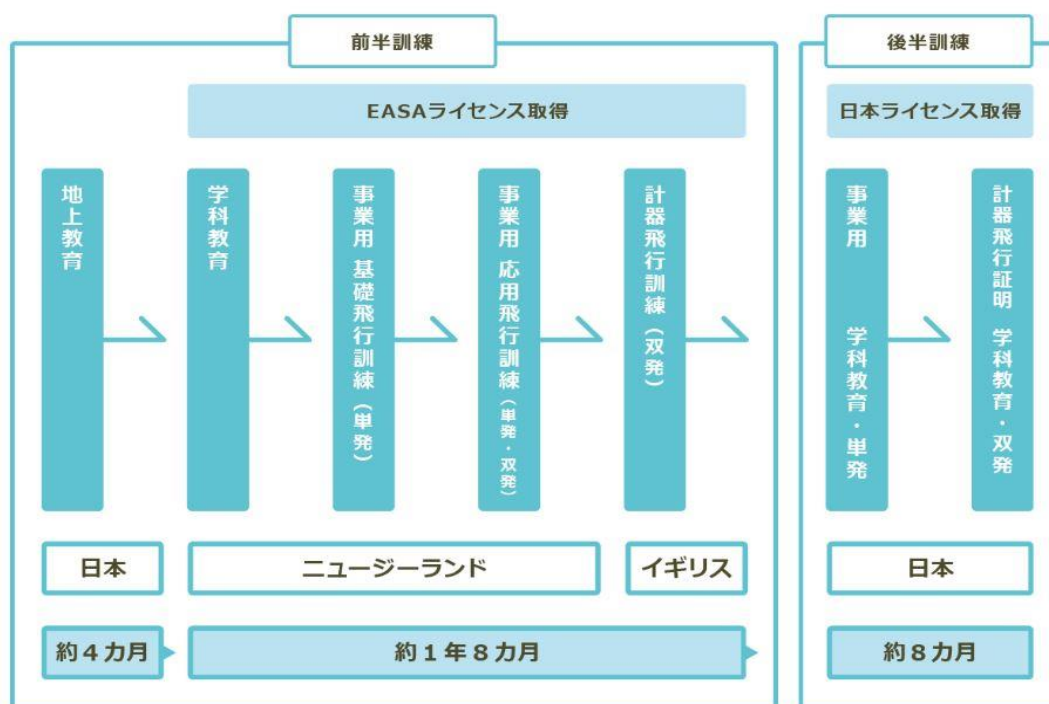
- ・海外の「L3 CTS Airline and Academy Training Limited(ニュージーランド、イギリス)(予定)」にて約1年8カ月間の訓練を実施
- ・欧州の事業用ライセンスならびに、計器飛行証明ライセンスを取得
- ・訓練費用は自己負担だが、三井住友銀行協力のもと、海外でのライセンス取得にかかる費用の支払いに利用できる「訓練費用サポートローン」を準備
- ・訓練期間中の生活費等の支援を目的に、チャレンジ手当を支給

<後半訓練>

- ・海外訓練終了後、採用選考を経て、「Peach自社養成訓練生」として入社し、国内の本田航空(予定)にて、約8カ月間にわたり、日本のライセンスへの切り替えにおける訓練を実施
- ・「Peach自社養成訓練生」として入社していただいた後の日本国内での訓練費用はPeachが全額負担

^{*1}EASAライセンス: EASA(欧州安全機関)加盟各国が発行するライセンス

^{*2}JCABライセンス: JCAB(国土交通省航空局)が発行するライセンス



※訓練実施場所、期間は変更となる場合があります。

Peach について(www.flypeach.com)

Peachは、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。現在では関西空港に加え、新千歳空港、仙台空港、那覇空港を拠点空港とし、25機の機材で、国内線16路線と国際線15路線に就航しています。1日あたりの運航便数は約100便で、毎日13,000人以上のお客様にご利用いただいています。Peachは成田空港を拠点空港とするバンライアと2019年度末をめどに統合し、アジアのリーディングLCCを目指します。